

TOTO

取り替え用 シングルレバー混合栓



TKG30U1型
TKJ30U1型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。






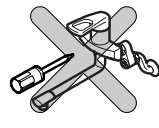
1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)




取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。





- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 警告		
 禁止	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

 警告		
 禁止	寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けない 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

 注意		
 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	 必ず実行	フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う また、水栓本体の左側および湯側取り替え脚が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
		凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、「 9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

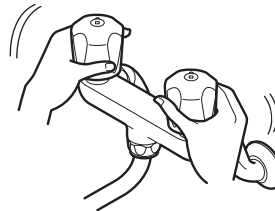
2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅台所用

3-2

2.今お使いの水栓の取り付け状況の確認

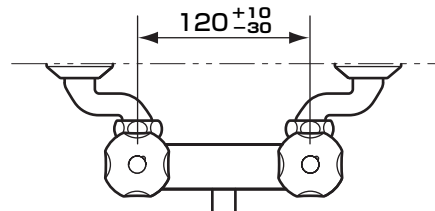
- 水栓を前後にゆすってガタツキがないか確認してください。



注意

ガタツキがあるまま工事しないでください。水漏れなどの危険があります。

- 取付脚の間隔を測り、 120^{+10}_{-30} であることを確認してください。



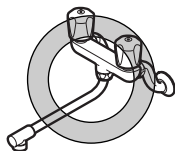
3-1 取り付け前に

1.今お使いの水栓の確認

- 壁付き2ハンドル水栓のほとんどもに取り付け可能です。

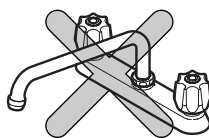
〈取り付け可能な水栓〉

①壁付き2ハンドル水栓

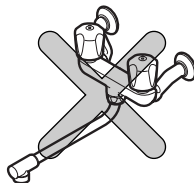


〈取り付けできない水栓〉

①台付き2ハンドル水栓



②取付脚が逆八の字の場合



③湯水が逆配管(向かって右が湯、左が水)の場合

- KVK・カクダイの一部商品には別途アダプタ(THY726)が必要です。この場合、前出寸法がさらに大きくなります。

↳ **6-2** - **4** 「取り替え用脚の取り付け」参照

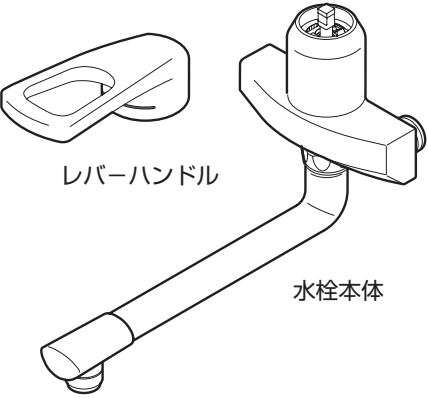



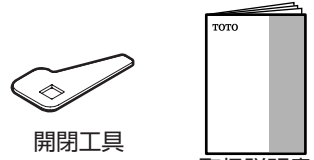
3.その他

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4

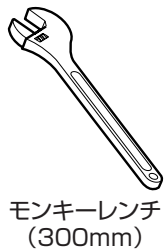
部品の確認

次の部品があることを確認してください。

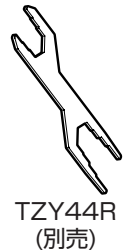
水栓本体部	取り替え用脚部
 <p>レバーハンドル 水栓本体</p>	<p>中パッキン (2個) 小パッキン (2個)</p>  <p>TOTO・KVK・INAX カクタイ・SAN-EI用 MYM用</p> <p>取り替え用脚 大パッキン付き (2個)</p>  <p>湯側 水側</p> <p>ねじがついている 方が湯側です。</p>
その他	
 <p>施工説明書</p>	<p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>開閉工具 取扱説明書</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

使用工具



または



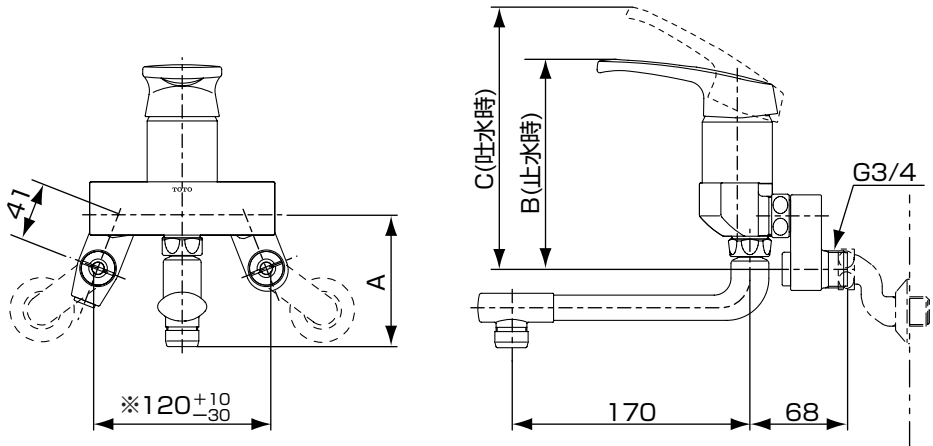
300mmのモンキー
レンチをお持ちで
ない方は別売の専用工
具(TZY44R)でも施
工できます。

5

完成図

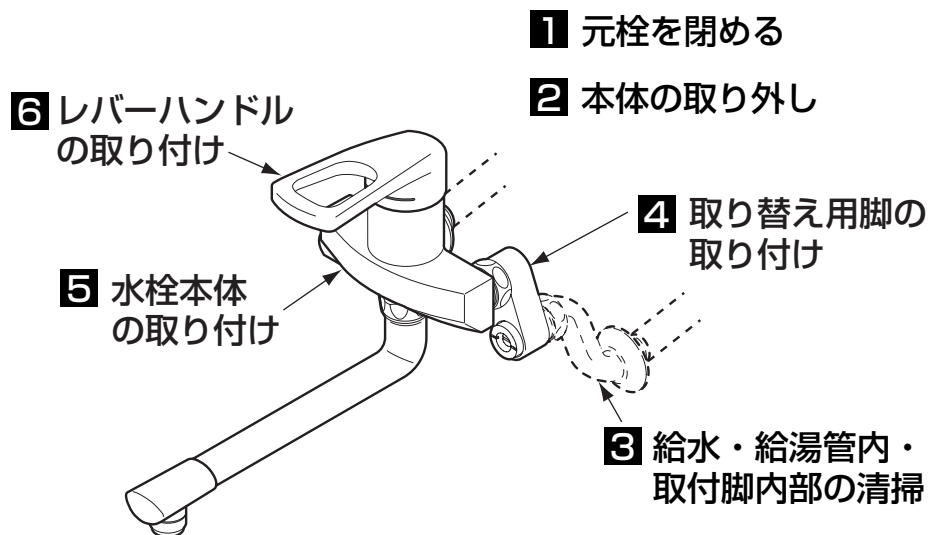
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

(単位: mm)



※は配管ピッチが (標準 最長 最短) の場合です。

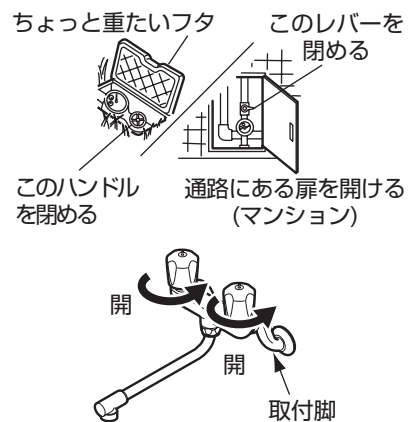
	A	B	C
TKG30U1型	94	107.5	145.5
TKJ30U1型	82	104	142

**1** 元栓を閉める

- ①配管部の元栓を閉める。
- ②ハンドルを開け、水が出ないことを確認する。

注意

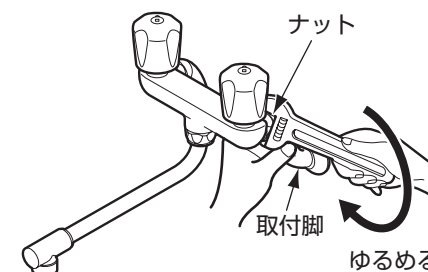
取付脚部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分確認してください。
また、配管や取付脚部の強度も十分確認してください。
取り付け後、破損、水漏れのおそれがあります。

**2** 本体の取り外し

取付脚のナットをモンキーレンチでゆるめ、本体部のみを取り外す。

注意

取付脚がゆるまないよう十分に手で保持してください。

**3** 給水・給湯管内・取付脚内部の清掃

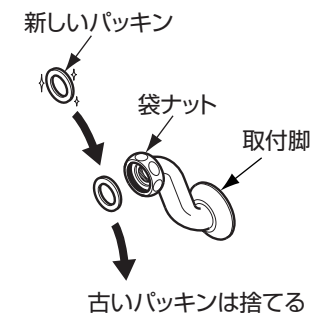
取り付ける前に **必ず給水・給湯管内・取付脚内部のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要**4.1** 取り替え用脚の取り付け

- ①本体と取付脚の間にある古いパッキンを取り除く。
- ②取付脚の袋ナットに、同梱の新しいパッキンを取り付ける。

注意

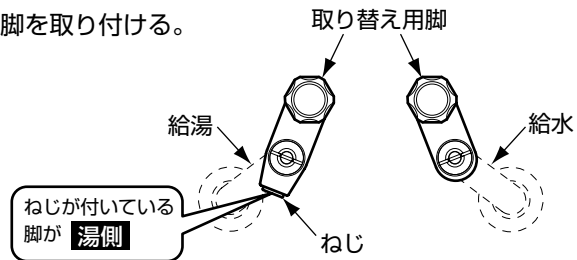
必ず同梱の新しいパッキンと交換してください。
水漏れのおそれがあります。



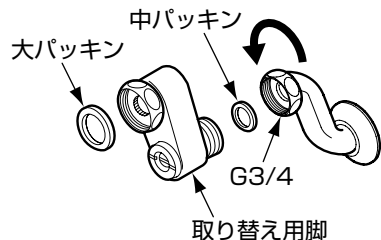
裏面へつづく

4-2 取り替え用脚の取り付け (つづき)

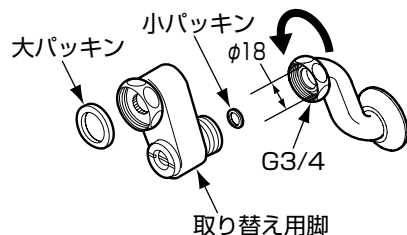
③取り替え用脚を取り付ける。



TOTO・KVK・INAX・カクダイ・SAN-EI

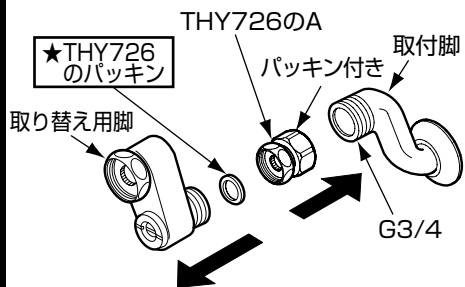


MYM



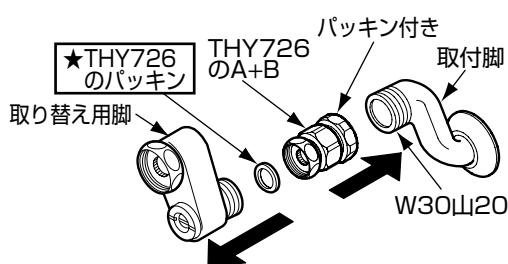
KVK・カクダイの一部

●THY726のAを取付脚に取り付けてください。

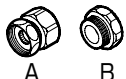


KVKの一部

●THY726のAとBを取付脚に取り付けてください。



THY726 (別売)

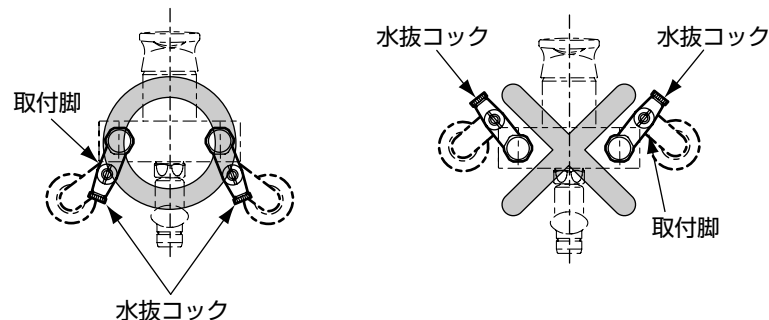


注意

アダプターを取り付けた場合は前出寸法がさらに大きくなりますので、配管や取付脚の強度を十分確認してください。取り付け後、破損・水漏れのおそれがあります。

寒冷地用の場合

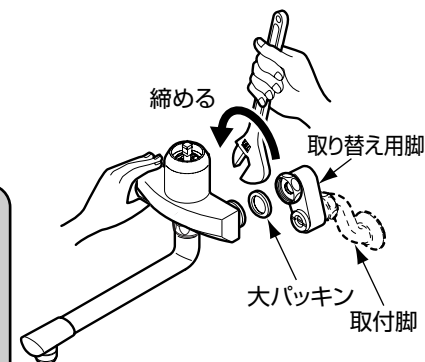
※寒冷地の場合は取り替え用脚の水抜コックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。



5 水栓本体の取り付け

①水栓本体を取り替え用脚に取り付ける。

②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

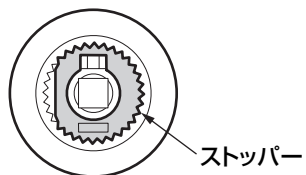


注意

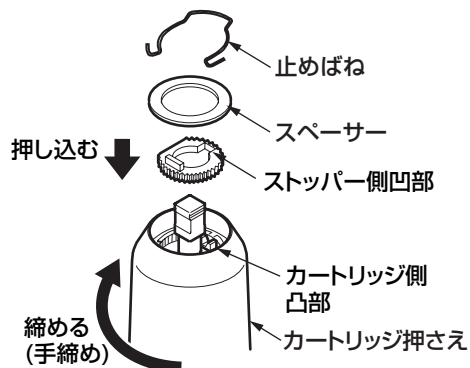
- ゆるみがないようにしっかり締めてください。
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

6 レバーハンドルの取り付け

- ① ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
 ※ 浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部をあわせて押し込んでください。



〈浮きや外れがある場合〉

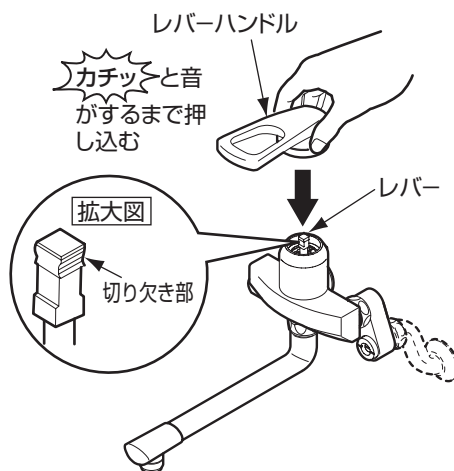


※ カートリッジ押さえの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを **締め込む方向** にて歯をあわせるように調整してください。

- ② レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。

注意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。レバーの切り欠きは **両サイド** にあります。



- ③ レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分にご説明ください。

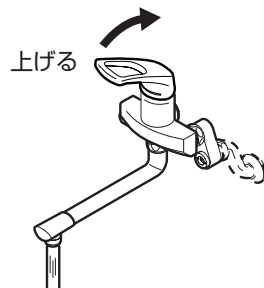
現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重たく感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたしているため、故障ではありません。
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

8

施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。

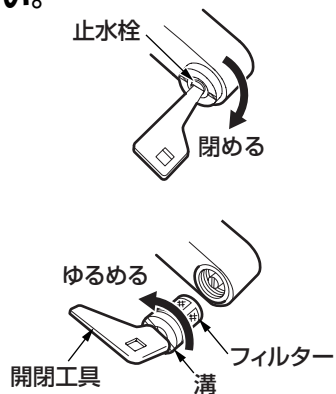


2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でフィルターを外してください。また、水栓本体の左側および湯側取り替え用脚が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



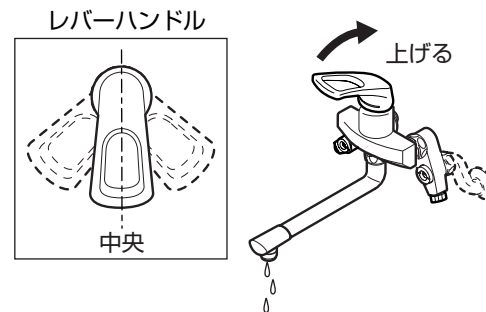
9

寒冷地用の水抜き方法

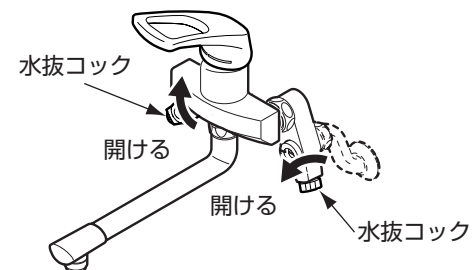
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいください。また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

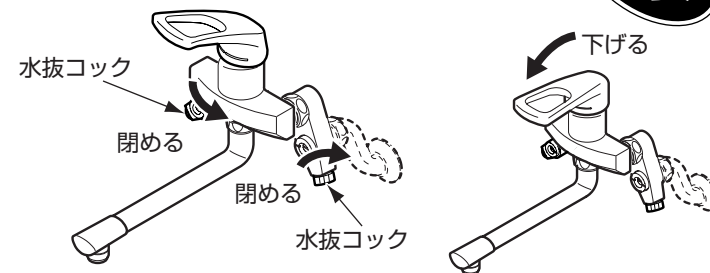
2. レバーハンドルを中央位置で上げる。



3. 水抜コック(2カ所)を開けて、水栓本体の水を抜く。



4. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)

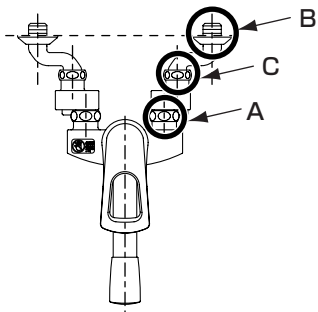


重要

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認のうえ、再度袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

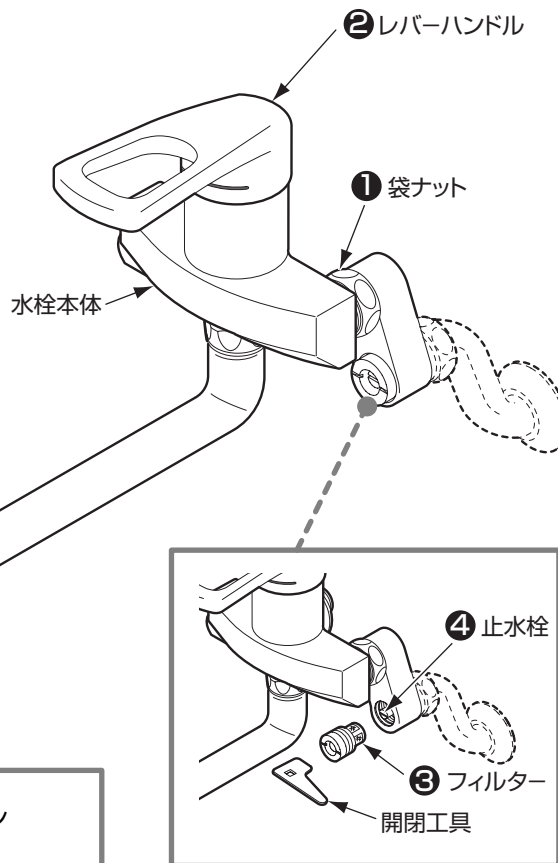
配管に腐食・ひび割れがないことを確認のうえ、再度取り付け直してください。

⑤ 吐水口

←パッキン

←内筒

←吐水口キャップ



ガッツキの確認

水栓本体のガッツキがないか確認してください。

① 袋ナットのゆるみはないですか？

↳ 6-2-⑤「水栓本体の取り付け」参照

② レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-3-⑥「レバーハンドルの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

③ フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 8-2. フィルターの掃除 参照

④ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。

⑤ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ 吐水口の掃除をする。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。